b) 審判員により退場を命ぜられたもの。

c) 蹴順表に名前が記載されていないもの。

d) 無資格選手が出場したときは、没収試合となる。
注) 無資格選手は競技場から退去しなければならない。

5. 再出場(リエントリー)

(1) 先発プレイヤーは、いったん試合から退いても一度に限り再出場できる。ただし、自己の位置していたキック順に戻らなければならない。違反者は相手チームから審判員に申し出があったとき、ペナルティを適用する。

(2) 先発プレイヤー以外の選手が再出場したときは再出場違反となる。

(3) 再出場違反のペナルティ

a) 違反者が不正選手となる。

b) 違反者は正しい交代者と交代する。

c) 違反者を発見した時までのプレイはすべて有効である。
(P18. 5-(3)-e) -②を除く)

d) 違反者が守備中に発見されたとき。

① プレイの関与にかかわらず違反者を試合から除き、違反者は不正選手となる。

② プレイに関与したときは、違反者は試合から除き、違反者は不正選手となり攻撃側の監督にプレイの結果を生かすか、蹴り直し(キック完了前のカウントを引き継ぐ)をするかの選択権が与えられる。

③ プレイに関与した後、1球でも投球された後は、それまでのプレイは有効だが違反者は試合から除かれ、不正選手となる。

e) 違反者が攻撃中に発見されたとき

① キック完了前は、正しい交代者がそのボールカウントを引き継ぎ、それまでのプレイは有効である。

② キック完了後、つぎの投球動作に入る前はキックによるプレイは無効で、違反者はアウトになる。

③ キック完了後、つぎの投球動作に入ったのちはそれまでのプレイはすべて有効である。

(4) 再出場違反のルールを適用する場合

a) 再出場の資格を持つ選手(先発プレイヤー)が一度再出場し、さらにもう一度再出場したとき。

b) 再出場の資格を持つ選手(先発プレイヤー)が、自己のキック順以外のところで再出場したとき。

c) 再出場の資格を持たない選手(先発プレイヤー以外の選手)が再出場したとき。

d) 再出場違反と無通告交代が重なったときは、再出場違反を優先する。

6. 代替プレイヤー

(1) 試合中、プレイヤーが出血した場合、止血などの処置を行わなければならない。処置が完了するまで試合には戻れない。その処置が完了するまで代替プレイヤーが試合に出ることができる。

(2) 負傷発生時、ラインアップ以外のベンチにいる控え選手であれば、どのプレイヤーでも代替プレイヤーになることができる。(すでに退いたプレイヤーでもよい。ただし、不正選手・無資格選手等は代替プレイヤーになれない。)

(3) 代替プレイヤーは出血の処置のため、一時的に退いたプレイヤーに代わり、そのイニングからつぎのイニングの終了までプレイを継続することができる。

(4) それ以上の新しいイニングに入るときは、代替プレイヤーは

正しい交代者と交代しなければならない。

(5) 代替プレイヤーの途中での交代はできない。

注) 交代した場合は負傷したプレイヤーの正式の交代となる。

(6) 代替プレイヤーとしての試合への出場は正式な交代とは異なり、試合出場や再出場の権利を妨げない。

(7) 血液の付着したユニフォームを着用してはならない。また、地面、用具などに付着した血液も完全に払拭しなければならない。

(8) 血液の付着したユニフォームを交換する場合、背番号が変更されてもやむを得ない。

(9) 出血の処置が完了したプレイヤーは、いつでも試合に戻ることができる。ただし、(3)に定められた期間を経過して試合に戻る場合には、再出場ルールが適用される。

7. プレイヤーのマナー

(1) チームのメンバーは、審判員の判定に対し、不服の言動や不満の態度を示してはならない。

(2) チームのメンバーは乱暴なプレイをしたり、相手チームや自チームのメンバーに対し、スポーツマンらしくない態度をとってはならない。

(3) 故意に競技の進行を遅らせてはならない。

第4章　試　合

1. 攻守の決定

攻守の決定は、チームの代表者がジャンケン等で決める。

2. 球場の適否の決定

試合を行うグラウンド状態の適否は、球審によって決定される。

3. 正式試合

正式試合は、両チームが7回の攻守を終了したときの合計得点の多少により勝敗を決定する。同点の場合は8回から、タイブレーカーにより試合を継続し、勝敗を決定する。
また、つぎの場合も正式試合となる。

(1) 後攻のチームが、先攻チームの7回終了時の得点より多いとき。

(2) 後攻のチームが7回裏攻撃中、先攻チームの得点より多くなったとき。

	一	二	三	四	五	六	七	計
A	0	1	0	0	0	0	0	1
B	0	0	0	0	0	0	2×	2

7回裏の攻撃が終了していなくても先攻するチームの得点より多くなったとき。

(3) 試合が途中で日没・降雨その他の事情により、試合の続行が不可能となり審判員が試合を打ち切った場合、4回あるいはそれ以降均等イニングを終了しているとき。

	一	二	三	四	五	六	七	計
A	0	0	1	0	~~2~~			1
B	0	2	0	0	×			2

5回裏の攻撃が終了していない場合は5回表の得点は加えない。